



卒業証書・学位記授与式／修了証書授与式



短期大学 入学式／専攻科ヒューマンケア専攻 入学式



## 2024年度 聖句

「主よ、お話してください。  
僕は聞いております。」

(サムエル記上第3章9節)



## CONTENTS

卒業証書学位記授与式・専攻科修了証書授与式	2
入学式を迎えて	4
TOPICS	6
卒業生の活躍／地域連携について	7





## 第58回学位記授与式・専攻科修了証書授与式

和泉を卒業した皆さんに



学校法人和泉短期大学は2024年5月で創立68周年を迎え、相模原に来て48

年目になります。

そして、この3月の卒業式・修了式には、児童福祉学科167名、専攻科介護福祉専攻20名の学生たちを送り出すことができました。また、4月の入学式には、児童福祉学科145名、専攻科ヒューマンケア専攻20名の新入生を迎えています。

これで本学園の同窓生の数は、児童福祉学科17,660名、専攻科介護福祉専攻251名、2010年に閉校した和泉福祉専門学校2,313名、合計20,224名(2024年3月現在)となりました。

ところで、新型コロナウイルス感染症が全世界に広がって、5年目に入りますが、現在は少しずつ以前の生活や社会活動に戻りつつあります。しかし一方で、コロナウイルスの新しい変異株が流行し、近隣の学校では学級閉鎖が起きています。いづれにしても、完全に終息するのは難しいようです。

さて、保育・福祉・幼児教育を取り巻く環境の変化や18歳人口の減少が急激に進む中で、本学のような小規模な短期大学の運営は厳しく、これからさらに18歳人口が減少しますので、本学の今後の在り方を検討しなくてはなりません。

現在の和泉短期大学は、日本で唯一の「児童福祉学科」単科の短期大学であ

り、これまで保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格を取得できる保育者、福祉従事者の養成にあたってきました。しかし、同じ資格、免許が取得できるといっても、学校のカラーによって学び方も雰囲気も異なりますが、本学は、「子ども達の幸せとは何か」そして「子ども達が幸せになるにはどうしたらよいか」ということを常に考えてきた養成校であります。つまり、児童福祉の精神のもと、学生達が、子ども達の目線に立ち、子ども達の権利を大切に、子ども達の命を守り、そして、すべての子ども達が自分らしく健やかに安心して過ごせるよう支援できるように、学生たちを導いてきたのです。

現在特に保育者に求められている資質として、子ども達を取り巻く様々な出来事を理解し、支援できる人材が求められています。政府も「こども家庭庁」を設立し、「こども家庭ソーシャルワーカー」という資格を作ろうとしています。

本学と致しましては、教職員全員で話し合いを重ねていく中で、建学以来大切にしてきた「子どもに寄り添う支援」と「子どもを取り巻く家庭や地域への支援」に改めて焦点をあて、昨年度より児童福祉学科に本学独自の資格として「こども支援ソーシャルワーカー」を立ち上げました。

また、専攻科におきましても、今年度より名称を「専攻科ヒューマンケア専攻」と変更して、今までの「介護福祉士国家試験受験資格」に加え、「ガイドヘルパー資格」そして本学独自の資格

「ヒューマンソーシャルワーカー」も取得できるようにしました。

この専攻科の目的は、児童福祉学科での福祉・保育の学びをもとに高齢者の介護だけではなく、障がいについて深く学び、人間を子どもから高齢者までトータルに理解することで、「質の高い保育者」を養成することにあります。

ですから、本学では、児童福祉学科で、「子どもの多様な環境の中、子ども達の権利を擁護することのできる保育者になること」を学び、専攻科ヒューマンケア専攻で「障がいのある子ども・大人、高齢者など世代を超えた人達とその家族を支える担い手となること」を学ぶこととなります。

しかし、児童福祉学科も専攻科も別々のことを学ぶものではありません。世代を超えた子ども、大人、高齢者の様々なニーズを有する人々の成長を支援するという意味では、切り離せない学びをすることになるのです。

昨年8月に、キャリアアップ研修を実施したところ、多くの参加者がありました。今後は卒業生達の段階に応じたスキルや知識を身に付けるための研修や、潜在保育士の再教育、再就職先の斡旋なども充実させて、ホームカミングの要素も加味した研修を行う予定でいます。

本学を卒業した皆さんも、本学への帰属意識を高く持っていたら、機会があるごとに和泉を訪ね、皆さんの設定した人生の目標に近づける道具として本学を使っていただけならば幸いです。

学長 佐藤 守男

# 2023年度表彰者

## 眞鍋記念奨学金(後期)



2年 齋島 咲希  
(県立橋本高等学校 出身)

二年間を振り返り、理想の保育者像を目指し常に新しい知識や技術を学び、その学びがこのような結果に繋がったことをとても嬉しく思います。友人や先生方の支えのもとでも充実した学校生活を送ることができたことに感謝するとともに、これからは和泉での学びや友人、先生方との出会いを糧に、自分らしく精進していきたいと思えます。



2年 矢作 彩寧  
(県立橋本高等学校 出身)

和泉での短く感じた2年間は、どれも和泉だからこそ感じられたこと、学んだことが多くあります。多くの仲間と教職員の方々に出会えたことができて幸せです。今、不安に思うこともありますが、私には和泉で出会い、培ったものが多くあります。迷ってしまっても、和泉での2年間で思い出し、自分らしさを大切に楽しんで歩んでいきたいと思えます。



専攻科介護福祉専攻 白井 一輝  
(日本工業大学駒場高等学校 出身)

「男性一人で大丈夫?」と先生方に心配されながら迎えた専攻科での一年間は瞬く間に過ぎ去りました。そして国家試験合格に向けて共に学び実践したことは、かけがえない思い出となりました。それは学生同士だけでなく教職員の皆様の支えがあって送ることができたのだと実感しています。修了生を代表して三年間関わった全ての皆様に御礼申し上げます。

す。今後は保育士として和泉での学びを自分らしく実践し、精進していきたいです。



1年 齋藤 沙里  
(県立霧が丘高等学校 出身)

この度は眞鍋記念特別奨学生に選んでいただき、大変嬉しく思います。授業内のグループワークなどで周りの人と意見交換をできたことで新たな発見があったり、自分の考えを見直したりと、より学びを深めることができました。今後も周りの友達と切磋琢磨しながら、多くの学びを得ることができるよう頑張りたいと思えます。



1年 千葉 春奈  
(日本大学 出身)

この度は眞鍋記念特別奨学生に選んでいただき誠にありがとうございます。いよいよ実習が始まりました。子どもの最善の利益について考え人の繋がりの大切さや、今答えの出ないものごとに対してでも一歩一歩前へ進んでいくことの大切さを実感する毎日です。今後も学びを通して、愛と奉仕をもとに社会のしあわせを創れるものとなるよう精進して参ります。

## 讃岐和家記念賞

2023年度SA委員会秋季イベントWG  
2年 曾我美沙希  
(県立相模向陽館高等学校 出身)



この度は讃岐和家記念賞という素敵な賞をいただくことができて大変嬉しく思います。コロナ感染が少し落ち着き始め4年ぶりにいずみ祭を開催することになり、以前のいずみ祭を経験していない私達学生はとて

も準備に苦労しましたが、先生方や地域の皆様の御協力もあり大変素晴らしいいずみ祭にすることができました。

また2年間の学生生活や、実習、日々の講義を通して学んだことを活かし、これからは保育者として精一杯頑張りたいと思えます。



2023年度SA委員会秋季イベントWG  
2年 依田 沙羅  
(県立上鶴間高等学校 出身)

この度は、このような素敵な賞をいただき大変嬉しく思います。4年ぶりにいずみ祭を開催することができ、そして無事に終えることができて嬉しく思います。いずみ祭の実行委員として関わる中で学校内の関わりだけでなく、地域の方との繋がりを感ずることができ、様々な人に支えられているのだと気づくことができました。これからも精一杯頑張りたいと思えます。

## 中島武夫記念賞

2年 朔間 真由  
(桐朋学園大学短期大学部 出身)



この度中島武夫記念賞に選んでいただいたこと、大変光栄に思います。困難な状況での学びを優しく見守ってくださる方、励ましてくださる方、愛をもって丁寧に関わってくださる先生方の姿勢は、溢れる和泉でいただいたこの賞は、神様に手をひかれ、これからの道を歩んで行く中で、私の背中を押すことなのでしょう。穏やかに、しかし信念をもって、神様に祝福された一人ひとりの子どもと共に、成長し続けていきたいと思えます。

## 学長賞(後期)



音楽サークル 2年 滝嶋 美優  
(県立綾瀬高等学校 出身)

この度は学長賞という素敵な賞をいただくことができ、たいへん嬉しく思います。様々な場所で演奏をし、たくさんの子もたちと音楽で繋がって、楽しむことができました。活動の中で、見てくださる方々を想像し、楽しんでもらえるプログラムを考えることや人前に立つて何かをすることは良い経験となりました。来年も音楽で人と繋がることを目標に頑張っていきたいと思えます。



専攻科介護福祉専攻 高橋 芽衣  
(都立小川高等学校 出身)

学園祭やサークル活動が開始し、他学年、地域の方と身近に関われるようになりました。本校の新たな始動に絵という私の強みで貢献できたことを誇りに思います。専攻科では国家試験を迎え学生間でお互いに頑張ったと励まし合う姿に、1年間で積み重ねた絆を感じました。4月から3年間の学びを活かし、「自分らしい保育者」を目指します。

## 学生ボランティア活動奨励奨学金



2年 水川 真緒  
(鶴川高等学校 出身)

この度は、このような賞をいただき大変うれしく思います。私は、ボランティア活動を通して様々な人と関わりいろいろなことを学ぶことができました。子どもと関わることで、改めて子どもと関わる仕事かと思うようになりました。今後はボランティアで経験したことを活かし、頑張っていきたいと思えます。

## 2023年度後期 学修奨励奨学金奨学生

小川 璃玖也 / 菊池 菜央 / 金城 奈々 / 齋藤 美佳 / 霜山 碧 / 須藤 陸斗 / 千葉 春奈

# 第60回入学式を迎えて



## 新入生のことば



私は保育と福祉、両方の知識を身につけることで多くの人の支えになれると考えています。そのため、一人ひとりに合わせた支援ができるよう、これから2年間

児童福祉学科 北嶋 桜乃  
(県立厚木東高等学校出身)

の児童福祉学科での学びに励んでいきたいと思っています。また、授業や実習だけでなく、日々の学生生活での新たな出会いやコミュニケーションを大切に、たくさんの方との関わりの中で、卒業後の進路を見据え、充実した時間を和泉短期大学で過ごしていきたいと思っています。

児童福祉学科 並松 香花  
(向上高等学校出身)



私が保育士を目指す理由は、そう思った理由は、ボランティアでお世話になった先生方が、一人ひとりの子ども笑顔を見守り続ける姿に憧れたからです。

私が志す保育者になるためには、保育と福祉の両分野を学べる和泉短期大学で、豊かな知識と経験を多く積み重ねていきたいです。実習だけでなく、地域の親子と交流できるボランティア活動にも積極的に参加して笑顔届けたいです。そして、信頼され寄り添える保育者を目指したいと思っています。

専攻科ヒューマンケア専攻 河西 柚夏  
(県立上溝南高等学校出身)



私が専攻科ヒューマンケア専攻へ進学を決めたのは、二年間の学びを振り返り進路を考えた時、もっと自信を持って就職したいと考えたからです。この一年間、授業や実習等で障がいのある方への支援の

方法や知識、人とのコミュニケーションのスキルを学び、さらに自信をつけて、悔いのない進路を決められるよう向き合っていきたいです。また国家試験に向けて、先生方やクラス仲間と共に勉強し、合格を目指し頑張ります。

## キリストの泉へようこそ

チャプレン・准教授 和寺 悠佳

和泉短期大学は、「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を建学の精神とし、キリスト教信仰に基づいて、保育・福祉の担い手を育ててきました。保育・福祉は、キリスト教信仰から生まれ、キリスト教信仰によって支えられて営まれてきました。

私たちの救い主、御子イエス・キリストは、「主なる神を愛しなさい」「隣人を自分のように愛しなさい」と教えてくださり、自らその模範を示してくださいました。イエス・キリストは、神様であられながら、クリスマスに私たちと同じ人として生まれてくださいました。幼子を祝福し、人々の病を癒し、苦痛を取り去り、孤独な人々の友となりました。さらに、十字架にかかってくださり、ご自分の命をかけて私たちを救ってくださいました。全ての者が、神様の愛の内に入れられていくことを、ご自分の歩みを通して示してくださいました。イエス・キリストは、私たちが愛し、私たちに仕えるために歩きました。和泉短期大学のスクールモットー「愛と奉仕」とは、このイエス・キリストの姿を表すものでもあります。

きました。神様の愛は決して尽きることがありません。「和泉」の校名の由来の通りに、決して尽きることのない豊かな神様の愛の泉に、皆さんは招かれてきました。新入生の皆さんは、どれほどの愛で神様から愛されているか、和泉短期大学での日々で実感することになるでしょう。この神様の愛をいただいているからこそ、その愛をもって神と人とを愛し、仕えるという「愛と奉仕」の実践者とされることができるのです。

二〇二四年度の年間聖句は、「主よ、お話しください。僕は聞いております」です。神様の声に聴いてみましょう。神様が、皆さんをどこまでも愛してくださっていることが分かってきます。神様に愛されているから、その愛で誰かを愛することができます。保育・福祉は、神様の愛に由来します。この子が可愛いから、この人が好きだから、それだけでは保育・福祉はできません。こうした私たちの感情は変わってしまいますが、神様の愛は決して変わりません。神様の愛をいただいて、神様の愛に倣って、誰かを愛する者とされていくことができます。皆さんが、そのような「愛と奉仕」に歩む者、保育・福祉の働き人とされていきますように。



## 2024年度 新入生研修会

和泉短期大学の建学の精神は「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」です。4月5日(金)に、新入生研修会を開催しました。和泉での学生生活の始まりに、建学の精神であるキリスト教にふれ、今後の学びの土台を築くためのプログラムです。

和寺チャプレンによる宗教部オリエンテーションに引き続き、日本基督教団牧師・横須賀学院高等学校聖書科講師である森下滋先生による音楽講演会を行いました。

ジャズピアノリストでもある森下滋先生は講演会の中でご自身のプロフィールや、キリスト教の人間観・世界観について語られ、神様に祝福された者として、夢を持って歩んでほしいと新入生を激励されました。併せて、幅広いジャンルの曲をピアノで演奏してくださいました。新入生の緊張をほぐしてくださいました。

新入生が、和泉短期大学での学生生活を支え導く神様の愛に触れるときとなりました。



## TOPICS

## 和泉短期大学後援会寄贈 椅子カバー、テーブルクロス の奉獻式

2024年3月4日(月)に和泉短期大学後援会より大学に寄贈された椅子カバーとテーブルクロス の奉獻式を会議室にて執り行いました。当日は、平塚豊事務局長の司会、本学和寺悠住チャプレンの司式により、讃美歌演奏、聖書朗読、祈禱が行われ、須田拓理事長、佐藤守男学長から感謝を述べ、後援会副会長の篠原俊正様からお言葉をいただきました。

椅子カバーとテーブルクロスは、学外での進学ガイダンス時など、和泉短期大学の入試・広報活動で大切に使用させていただきます。和泉短期大学後援会の皆様、いつも本学の活動をお支えくださり心より感謝申し上げます。



## 2年生の父母会役員に記念品を贈呈

2024年3月12日(火)理事長室において、2年間父母会役員としてご尽力いただいた2年生の父母会役員6名の皆様に、佐藤学長が感謝の意をお伝えし、渡辺和子著「置かれた場所で咲きなさい」に、佐藤学長のサインをし、記念品を贈呈しました。

役員の皆様、2年間ありがとうございました。



## 第36回 介護福祉士国家試験 20名合格

第36回介護福祉士国家試験の結果が、2024年3月25日(月)に発表されました。

和泉短期大学 専攻科 介護福祉専攻の学生は20名受験し、20名全員が合格しました。

合格基準は総得点125点に対し、得点67点以上の方です。合格率は82.8%。

和泉短期大学の合格率は100.0%です。

一生懸命、真摯に授業、実習そして国家試験対策に取り組んだ成果です。合格おめでとうございます。



## 和泉短期大学 学生聖歌隊40周年記念

2024年2月24日(土)和泉短期大学3号館 和泉クラーク・ホールおよび学生食堂において、和泉短期大学学生聖歌隊40周年記念ならびに中島弘光先生(本学元教授・学生聖歌隊指導担当)80歳誕生パーティーが行われました。

第1部の感謝礼拝では、中島先生による「アヴェ・マリア」など3曲の独唱があり、2期聖歌隊隊長である鈴木宏子牧師による祝祷、第2部は学生食堂に移動して中島先生の80歳誕生お祝いのパーティーが盛大に行われました。



## 創立68周年「創立記念礼拝」

和泉短期大学は創立68周年を迎え、2024年5月13日(月)、創立記念礼拝をおさげしました。和泉短期大学の創立から今日までを守り導いてくださった神様に賛美し、「あなたは世の光」と題するメッセージを通して御言葉を聴きました。須田拓理事長により、どんな時でも、神様に愛され、神様の光に照らされていることを知り、そのことを保育や福祉の働きを通して伝える人になってほしい、全ての人々が神様に愛されていることを共に喜ぶ人になってほしいと、スクール聖句「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい」の意味が語られました。

和泉短期大学は、神様の愛を伝える保育・福祉の働き人を育てるという使命を、これまでも、これからも担ってまいります。



## 同窓会いずみ第14回通常総会開催

2024年2月17日(土)和泉短期大学101教室に於いて、2024年同窓会いずみ第14回通常総会を開催し、16名の参加がありました。

学校法人和泉短期大学 曾根真理子事務局次長による開会祈禱で始まり、須田拓理事長挨拶、川井赴彦会長挨拶に続き、2023年活動報告、決算報告、監査報告、2024年活動計画(案)、予算(案)、任期満了による新役員の選出について審議し、全て原案どおり承認されました。新役員に、会計監査として第52期卒業生の木村優大さんも加わり、就任の挨拶がありました。また、総会後に茶話会を行い、原田康子名誉教授を囲み、懐かしい話に花を咲かせました。



## 2023年度 卒業記念品を贈呈

2024年3月11日(月)卒業感謝礼拝後、第58回卒業生並びに第14回専攻科修士生を代表して、濱田琴花学友会会長より佐藤守男学長に卒業記念品の目録を贈呈しました。

今年度の卒業記念品は、AEDおよび、かんだんくみたてテントです。在学生のために、大切に使用させていただきます。



## 2023年度「和泉スプリングコンサート」開催

2024年3月2日(土)和泉クラーク・ホールにおいて「和泉スプリングコンサート」を開催しました。

当日は、地域の方々や教職員を含め200名以上の方にご来場いただきました。第一部は、本学オルガニストである石井三枝子さんのパイプオルガン演奏、第二部は、江原美歌子さんによるソプラノ独唱を十時節子さんのピアノ伴奏とともにお送りいたしました。

今後も、地域の皆様にとりまして素敵なコンサートをお届けできるよう企画して参ります。多くの方のご来場、誠にありがとうございました。2024年度は、2025年2月28日(金)開催予定です。



## 学友会主催「スポーツ大会」開催

2024年4月20日(土)に和泉短期大学4号館で、学友会主催のスポーツ大会を開催しました。当日は約90名の参加があり、アリーナではドッジボール、リトミック室ではボッチャの試合を行いました。ドッジボールは「猛獣狩りに行こうよ」のゲームでチームを分け、ボッチャは、その場で3人組を作り競技に臨みました。昼食後も競技は続き、最後は抽選会で盛り上がりました。学生からは「楽しかった」との声が多く聞かれ、学年を超えた新たな友人関係を築くことにも繋がりました。



## 2024年度 学校法人和泉短期大学「創立記念フェア」開催

2024年5月22日(水)に、「2024年度創立記念フェア」(通算36回目)を開催しました。

## イベント内容

- ・お弁当100円…「からあげタルタル丼」「オムそば」
- ・キャンパスコンビニ 全商品20%OFF
- ・250円以上購入者にはハズレなしの抽選

100円お弁当は人気のため事前販売で完売し、キャンパスコンビニも多くの来客があり大盛況でした。今後も、楽しいイベントを実施してまいります。



## 卒業生の活躍 (第27回)

一般社団法人 P O E  
児童発達支援・放課後等デイサービス

(二〇一九年三月卒業生) 保育士 中田 真輝さん

私は和泉に入学して、短い時間の中なのでぎゅっと詰め込まれ正直大変さがありました。2年間の中で病院の中の施設の実習に行かせていただいたり、療育センターなどにも行きました。自分が今まで経験したこと、手話を生かして専攻科の学生さんにも1コマ授業をさせていただく機会もいただきました。

和泉の先生方は一人一人の生徒に寄り添い、勉強したいこと、今後についてなど真剣に一緒に考えてくれてとても安心して学生生活を送ることができました。私は妹が聴覚障がいをもっているため手話を使って子どもの支援をするのが夢でした。障がい児福祉について学ぶことは難しい内容でもありましたが、私にとってはとても興味がある内容でした。学んでいくにつれ、卒業してそのまま就職するより、もう少し福祉について学び特別支援学校(聴)の資格が欲しいと思い編入しました。編入したからの2年間は想像以上に大変でしたがとても充実していました。

卒業後は編入時期に行った実習先に就職しました。ここでは就労支援施設で利用者の方の特性がとてもしっかりと生かされていて、利用者の方の技術のすごさ、職場の笑顔あふれる雰囲気、支援員の方々のアットホームな感じ



に魅了され、1度は大人の障がいを持った方の支援をしてみたいという気持ちが強くなり、3年目に差し掛かるまで働いていました。その後はやはり夢をあきらめられず、ご縁があり大阪に拠点を移し、聴覚障がいの子どものための保育士を現在行っています。和泉で学んだ心理や、障がい児福祉の学びについては今働きたがらとてもためになっています。神奈川から拠点を移すのはかなり勇気がいることでしたが、夢をかなえるための大きな決断も、自分のために挑戦することとても大事なことだと感じました。あきらめず挑戦してよかったと思っています。とても楽しく仕事に取り組んでいます。日々子どもたちの成長を感じています!

## 地域連携

### 相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定証授与

2024年2月15日(木)相模原市立産業会館にて「相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度認定証贈呈式」が行われ、本村賢太郎相模原市長からの認定証が贈呈されました。

この制度は本学と相模原市との包括連携協定に基づいて在学中に一定以上の地域活動・市民活動を行った学生に対して相模原市から認定証が贈呈されるものです。2023年度は2年生6名(ボランティア博士2名、ボランティア修士1名、ボランティア学士3名)、1年生11名(ボランティア博士1名、ボランティア修士2名、ボランティア学士8名)が認定されました。

認定証は佐藤守男学長より、2年生(卒業生)には3月11日(月)の卒業感謝礼拝後、1年生(新2年生)には4月2日(火)の新年度始業礼拝後にそれぞれの学生に手渡されました。和泉短期大学はこれからも学生と共に地域に貢献してまいります。

博士(150時間以上)	2年生	水川 真緒、宇都宮 翔	1年生	矢口 芽生子
修士(90時間以上)	2年生	朔間 真由	1年生	坂本 七海、角田 結菜
学士(30時間以上)	2年生	滝嶋 美優、矢作 彩寧、中戸川 瑛一		
	1年生	加藤 奈鈴、中川 由美子、本間 星那、安齊 美羽、向山 愛純、歌川 大輔、勝又 葵、宇山 花菜		



1年生



2年生

### 「国際ソロプチミスト相模」2023年度Sクラブ、シグマソサエティ助成金贈呈式

2024年2月18日(日)相模原あじさい会館ホールにて、『国際ソロプチミスト相模』(佐々木美保 会長)から助成金の贈呈式があり、和泉短期大学からは大下副学長、平塚事務局長が出席しました。国際ソロプチミスト相模から本学に対しての助成金(60,000円)は、2005年度から始まり本年度で19回支援していただいております。貴重な助成金をハンドベル履修学生の依頼演奏、集中練習等に係る交通費、及び活動費等のハンドベル・クワイア活動に使用させていただきました。

#### 【和泉短期大学ハンドベル・クワイアプロフィール】

和泉短期大学は児童養護施設の保育者養成を目的に建学され、現在までに保育、幼児教育、社会福祉施設等で多くの卒業生が活躍しています。ハンドベル・クワイアは、選択科目となった「ハンドベルⅠ」「ハンドベルⅡ」「ハンドベルⅢ」「ハンドベルⅣ」の履修者によって構成され、千葉仁先生のご指導のもと授業及び放課後に練習を積み重ねており、2023年度は、前期1年生9名、2年生2名、後期1年生8名、2年生2名が履修しました。特別礼拝やクリスマス行事等では欠かすことのできない存在として活躍し、その豊かで深い音色は周囲を温かく包みこんでいます。



### 2024年度 第2回現任研修・公開講座のお知らせ

本学2024年度リカレント教育プログラムとして、保育・社会福祉の実践者による語りを通して、多角的な視点と“重奏的”な連携により、「子ども丸ごとを支援する」質の高い保育実践・福祉実践をテーマに講座を開催します。卒業生1,000円・一般1,500円、申し込み方法詳細は本学ホームページをご覧ください。卒業生をはじめ多くの皆様のご参加を歓迎します。

日 時：2024年8月31日(土)12:50~16:00(予定) 会 場：和泉短期大学クラークホール  
 テーマ：こども支援の今 - 保育・福祉の連携の中で「こども丸ごと」を支援する視点を学ぶ  
 内 容：対談「子どもの人生はつづく - 虐待経験者の語りから考える」、実践事例によるシンポジウムなど

## 2023年度『教育環境充実資金募金』報告

2023年度「教育環境充実資金募金」については、教育活動等に対して、718,000円を充当させていただきました。

ここに2023年度教育環境充実資金募金報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額	10,000,000円	ご寄付者総数	58件
募金期間	2023年6月1日～2024年3月31日	寄付金総額	718,000円
寄付者一覧(敬称略) <2024年2月21日～2024年3月31日>	国際ソロプチミスト相模原会長 佐々木美保 以上1件	募金対象事業	・1号館 教室プロジェクター交換工事 ・ICT環境の整備 ・1号館 大教室 ウイルス除去装置設置

## 2023年度 和泉短期大学『愛のいずみ基金奨学金募金』報告

2023年度「愛のいずみ基金奨学金募金」報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額	3,000,000円	寄付金総額	837,000円
募金期間	2023年6月1日～2024年3月31日	募金対象事業	経済的事情により修学困難な学生を支援するための本学独自の給付型奨学金基金
寄付者一覧(敬称略) <2024年2月21日～2024年3月31日>	松岡 潤 以上1件	奨学金実績	2023年度は、給付条件に合う学生がいな いため頂きましたご寄付は2024年度に繰 り延べさせていただきます。
ご寄付者総数	53件		

## 退任あいさつ

ラーニングセンターウィー 基礎学力支援者 小山 力



辛い状況にある人に同情できても、その状況をどこまで自分ごととして受け止められるか、自身が困難な状況にある時に、他人の喜びを素直に喜べるか、私には自信がもてません。「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣く」というのはたやすくできることではないと思うのです。聖書には、どのように優しさをもって接するべきか、困っている人にどのよう  
に手を差し伸べるのかなど、思いやりと共感について多くの聖句があり、常に隣人を自分自身のように愛し、困っている人に憐れみを示すよう私たちに導きを与えてくれます。

知る力と見抜く力とを身につけて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。(フィリピ1:9-10)

個別の問題に適切に対処していく力をつけるために、知識と判断力を深め、愛を深める。私はこれからも、真実を的確に判断する力をもてるよう、学生や子どもたちと共に学び続けていきたいと考えています。

本学で6年間お世話になりました。和泉で出会った学生のみなさん、職員の方々、先生方、和泉をつくってこられた先達や先輩の方々、関係の方々、みなさまに感謝いたします。

広報渉外ユニット 横島 佳子



小説「舟を編む」の辞書編纂にて、人名が辞書に載るのは、「正」になった方だけだ。生存している方は辞書に掲載されない。何故なら、生きている方の語釈は常に変化してしまうからだ。という一節があります。「生きていくことは、変わることでなんですね」と話は繋がります。和泉も変化を続けながら、和泉らしい光を放つための惜しみない努力と進化をしています。それは正しく「和泉が生きている証明をしています」この1年間、入試広報に関わり、「新星、和泉生」が誕生する瞬間に立ちあえたり、英国式の卒業式など、初めて触れるものが沢山ありました。愛情に溢れた一つひとつの出来事に、大人になってもこんなに感動することがあるのだと胸が躍動しました。学校が進化し続けるには、大きな勇氣と覚悟が必要です。是非、多くの皆さまの期待に応え、輝き続けて欲しいと願っています。さて、次の列車に乗る時間がきました。感謝を込めて「行ってまいります」

### 二〇二三年度ベストオブスタッフ賞(事務局長賞)

高校教員として培った経験を生かし、高大接続、相模原市との連携、マスコミ対応に力を尽くしていただき、事務局長から二〇二三年度ベストオブスタッフ賞が贈呈されました。

### 2023年度で退任された非常勤の先生方(敬称略)

#### <児童福祉学科>

鵜野澤武美(2022年4月1日～2024年3月31日)(保育内容の総合的指導法「言葉」、保育内容「言葉」)

山崎 優(2022年4月1日～2024年3月31日)(保育内容の総合的指導法「造形表現」、造形遊びⅠ・Ⅱ)

弘中 雅子(2016年4月1日～2023年9月30日)(保育内容の総合的指導法「造形表現」)

#### <専攻科>

伊東 一郎(2021年4月1日～2024年3月31日)(介護過程の基本)

永年、和泉短期大学の教育に貢献していただき感謝いたします。